

自分で守る  
みんなで守る  
防災教育

令和2年度

# 1日防災学校 実践事例

～実践的な防災教育の推進～

- 本道の児童生徒に、災害時には**自らの命を守ることができる力**を身に付けさせるため、実践的な防災教育の推進が求められています。
- 道教委では、道、市町村、防災関係機関等と連携し、**実践的な体験活動を取り入れた「1日防災学校」**の取組を展開しています（令和2年度 148市町村実施）。
- 各学校では、地域と連携し「自分で守る みんなで守る」知恵と行動力を学ぶ**「1日防災学校」を始めましょう。**



津波実験装置で津波のメカニズムを学ぶ子どもたち

## Contents

### □ 学校での実践事例

- Case 1 幼稚園 防災教育用カードゲーム「ぼうさいダック」
- Case 2 小学校（1・2年生） 防災かるた
- Case 3 小学校（3・4年生） 避難所設営体験
- Case 4 小学校（5・6年生） 非常食調理
- Case 5 小学校（その他） 煙体験、津波実験
- Case 6 中学校 } 全学年共通 避難所運営ゲーム
- Case 7 中学校 } 防災クイズ
- Case 8 中学校 } シェイクアウト訓練、救急救命訓練

児童生徒や  
教職員の声、  
関係機関からの助言も  
掲載しています。

### □ 関係機関との連携事例

- ・ 防災〇×クイズ (市町村防災担当職員、地域防災マスター)
- ・ 救護活動、避難所設営体験 (市町村防災担当職員、社会福祉協議会)
- ・ 地図情報を活用した出前講座 (国土地理院北海道地方測量部)
- ・ 防災機関の災害対応 (警察、消防、自衛隊)
- ・ 非常食など備蓄品等の提供 (市町村防災担当部局)
- ・ 防災教育資機材一覧 (市町村防災担当部局、道危機対策課)
- ・ 学んDE防災 (北海道教育委員会)

自分で守る  
みんなで守る  
防災教育

# 学校での実践事例

1

## 本資料の活用にあたって

実践事例は、次の項目で整理し、まとめています。

### Case 2 防災かるた（1・2年生：国語、特別活動）



防災かるたをならべた様子



かるた取りをしている様子

- **ねらい**
  - ・地震や津波、火山、気象など、北海道の自然災害や、必要な防災知識を確認させる。
  - ・確認した知識をもとに、「なぜその行動が必要か」を考えさせる。

- **内容**
  - ・誰でも楽しめる「かるた遊び」を通じて、北海道ならではの自然災害のリスクや防災に関する知識を身に付けます。

- **関係機関の協力**
  - 市町村防災担当部局や振興局職員による可会進行、解説

取組名、学年、教科を記載しています。

児童生徒に理解させるポイントを、記載しています。

具体的な取組内容を記載しています。

協力してくれた防災関係機関を記載しています。

2